

伊藤 ふみや

2026.08
VOL.04



市議会議員として4回目の活動報告をお届けします。今回は、地域の中で少しずつ広がっている「つながり」について書きたいと思います。

つくば市が進めている障害のある方の余暇支援事業が、今年度から動き出しました。私も準備の段階から関わらせていただいていた取り組みです。5月31日にはさくら総合体育館で第1回の「春の運動会」が開かれ、たくさんの方が体を動かして楽しむ姿に、私自身もうれしく感じました。

このほかにも、コミュニティスクールや児童館の父母の会、PTA、並木夏祭り、並木幼稚園跡地の利活用など、いくつもの地域の活動に関わらせていただいています。一つひとつは別の取り組みのようであり、どれも「この地域がこれからどんな街になっていくか」につながっていると感じています。それぞれの現場に関わらせていただいているからこそ見えてくる視点や、自分にできることを、これからも探していきたいと思います。

皆さんからたくさんのご意見をいただけると、それを踏まえて一緒に考えていくことができます。気になることや困っていること、「こんな人があるよ」というご紹介でも構いません。ぜひお気軽に声をお聞かせください。

一般質問で「重層的支援体制整備事業」を取り上げました



一般質問の映像が
ご覧いただけます



今回の6月議会では、「重層的支援体制整備事業」について質問・提案しました。「高齢」「障害」「子ども」「生活困窮」と分かれていた相談を、世帯まるごと受け止め、分野を越えて支えていく仕組みが「重層的支援体制整備事業」です。8050問題やヤングケアラーなど、一つの窓口だけでは対応しきれない複合的な課題が増える中で、つくば市も令和7年度から取り組み、今年度で2年目を迎えています。

準備にあたっては土浦市・松本市など特色ある自治体に直接お話を伺い、進め方に唯一の正解はなく、それぞれが地域に合った形を選んでいることを確認しました。



要望 1

支援が届いていない方へ「出向く支援」を

長期のひきこもりやセルフネグレクトなど、自ら支援を求めることが難しい方へこちらから出向く「アウトリーチ」は、この事業の重要な機能です。各課が日々の業務の中で必要に応じて関わる体制では、継続的に出向き続けることが難しい場面もあります。NPOなどへの委託も選択肢に、市役所だけで抱え込まない形での検討を求めました。



要望 2

つくば独自の社会資源を活かした「つくばらしい形」を

地域交流センターの相談事業や校内フリースクールなど、つくば独自の資源を活かし、関連する施策が重なる今、この体制を市の施策全体の中に位置づけていくことを求めました。

市長からは、多職種・多分野の関係者が日常的・継続的に連携できる場づくりや、交流センターの相談機能の強化など既存の制度にとらわれない包括的な支援、そして重層的支援を単独の事業ではなく市の施策全体で一体的に進めていく考えが示され、「しっかりと旗を上げて、誰一人取り残さない支援体制を作っていきたい」との答弁をいただきました。

常任委員会 | 福祉保健委員会

つくば市福祉支援センターのあり方に関する検討会に参加



副委員長として、つくば市福祉支援センターのあり方に関する検討会に引き続き関わっています。市内4か所の福祉支援センターを実際に訪ね、利用状況や施設の現状を確認したうえで、これまでの委員の意見を持ち寄り、現在は検討会としての提言書のとりまとめに向けた議論を重ねています。

老人福祉施設と一体になっている施設もあれば、老朽化が目立つ施設もあり、4か所それぞれが置かれている状況や抱える課題は大きく異なると実感しています。

令和9年度に児童発達支援センターが開設されると、各センターが担ってきた役割も変わっていきます。施設の老朽化も進む中で、4つの福祉支援センターが今後どのような役割を担っていくのかを、利用者・家族・職員それぞれの声を聞きながら、今回の一般質問で取り上げた重層的支援の視点ともつなげて、しっかり考えていきたいと思っています。

並木幼稚園跡地について

跡地の活用に向けた検討が進んでいます

ご意見を
聞かせて
ください

約10年間休園が続く並木幼稚園について、跡地の活用に向けた検討が進んでいます。これまで旧園舎のホールを残せないかという声もありましたが、調べていく中で、用途や費用の面で難しい点も見えてきました。今は、ホールも含めて解体する方向で進んでおり、来年度の解体に向けて、現在その予算化を市に求めているところです。

これまでの意見交換会では、予約なしでふらっと立ち寄れる場所や、雨の日でも体を動かせる全天候型の居場所、中高生の自習スペースなど、世代を問わず使える施設を望む声が出ています。並木幼稚園には、本当に多くの方が関心を寄せてくださっています。解体の見通しが立ってきた今、これからは「跡地にどんな場所を求めていくか」を、地域の皆さんと一緒に考えていく段階に入ります。交流センターや児童館の将来とも関わる、地域にとって大切なテーマです。「こんな場所になったらいいな」という思いやアイデアがあれば、ぜひお聞かせください。一緒に考えていけたらうれしいです。

////////// 様々な地域の活動に参加しています //////////

いただいた要望が、少しずつ前に進んでいます

地域の皆さんからお寄せいただくご要望にも、一つずつ取り組んでいます。道路の安全対策や公園のベンチ、テニスコートの環境など、身近な困りごとについて市とやり取りを重ね、少しずつ前に進んでいるものもあります。以前から要望してきた成人式での特別支援学校卒業生へのメッセージ対応も、次の成人式から実施できる見込みとなりました。気になることがあれば、ぜひお聞かせいただけると嬉しいです。

コミュニティスクールの委員になりました

今年度から、コミュニティスクールの委員を務めることになりました。学校と地域が、これから先どのように連携しつながっていくかを話し合っていく場です。これまでPTAや並木のお祭りなど地域の活動に関わってきた経験を活かしながら、学校と地域をつなぐ役割の一端を担えるよう、しっかり関わっていきたいと思います。

児童館の父母の会「どんぐりクラブ」に参加します

並木児童館の父母の会「どんぐりクラブ」に参加することになりました。歴史のある組織で、今は三男が児童館にお世話になっています。早速、今年の夏（8月）にはキャンプの実施が決まりました。地域の中で多様なつながりが生まれる場として、しっかり盛り上げていきたいと思っています。並木地区の皆さん、ぜひ一緒に。

LINE公式アカウントで発信中／お問い合わせもこちらから

週に1回、音声で活動報告を配信しています。福祉・農業・不登校・ひきこもり支援・地域のことなど、日々の現場で感じていること・考えていることをそのままお話ししています。このLINEは、発信だけでなく、皆さんからのお問い合わせ・ご相談の窓口でもあります。これまでも、ここでいただいたご要望が形になっていったことがあります。「こんなことで困っている」「こんな声を届けたい」——どんなことでも、このLINEからお気軽にご連絡ください。ぜひご登録ください。

登録は
こちら／



伊藤 ふみや PROFILE

1988年5月31日生まれ。筑波大学理工学群化学類に進学。議員インターンシップを通じて、現つくば市長五十嵐立青のもとで活動し、農業と福祉の問題に取り組む。大学卒業後、五十嵐とともにNPO法人つくばアグリチャレンジ（現NPO法人ユアフィールドつくば）を設立し、ごきげんファームをスタート。現在は4カ所のごきげんファームに加えて、障害のある人たちのグループホームを展開。世界の傑出した10人の若者として国際青年会議所のTOYP（Ten Outstanding Young Persons）を受賞。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士、中小企業診断士の資格を持つ。スクールソーシャルワーカーとして活動経験があり、現在は保護司としても活動。つくば市並木在住。2024年つくば市議会議員選挙で初当選。現在、福祉保健委員会の副委員長と最終処分場に関する調査特別委員会の委員長を務める。



SNSでも
情報発信中！



no+e

